

# 化学療法計画書

ID							
氏名							
生年月日							
実施部署				発行日			
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50	CLcr	100

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	尿路上皮癌
治療法	ゲムシタビン+カルボプラチン併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	ゲムシタビン	カルボプラチン
規格	200mg 1g	50mg/5mL 150mg/15mL 450mg/45mL
一般名	ゲムシタビン	カルボプラチン
一日投与量(規定)	1000mg/m <sup>2</sup>	AUC*5
患者情報から算出した一日投与量	<b>1501.12 mg</b>	<b>625 mg</b>
実際の投与量	<b>1500 mg</b>	<b>625 mg</b>
	<b>999.3 mg/m<sup>2</sup></b>	<b>5 *AUC</b>
投与日	day1,8,15	day1
1クール期間	28日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて随時検査実施	

適応基準	進行再発尿路上皮癌
推奨経口剤	○このレジメンは中等度嘔吐性リスク群です。(day1) ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2、3、4: 8mg/日 イメンド: day1(抗癌剤投与前) 125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。ただし、デカドロン投与量を半減すること
禁忌	1.重篤な骨髄抑制のある患者 2.本剤又は他の白金を含む薬剤に対し、重篤な過敏症の既往歴のある患者 3.妊婦又は妊娠している可能性のある女性 4.胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者 5.胸部への放射線療法を施行している患者 6.重症感染症を合併している患者
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数: 50,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●ゲムシタビン 重大 1.骨髄抑制(白血球減少67.2%・好中球減少60.1%・血小板減少29.5%・赤血球減少65%) 2. 間質性肺炎(1.5%) 3.ショック・アナフィラキシー様症状(0.3%) 4. 心筋梗塞(0.3%) 5.うっ血性心不全 6.肺水腫 7.気管支痙攣 8.成人呼吸促迫症候群(ARDS) 9.腎不全 10.溶血性尿毒症症候群 その他 悪心・嘔吐(35.2%)、食欲不振(43.4%)、低酸素血、g-GTP上昇、AST(GOT)上昇(28.9%)、ALT(GPT)上昇(32.9%)、LDH上昇(9%)、疲労感(30.5%)、発熱(31.8%)、浮腫、無力症、インフルエンザ様症状、CRP上昇 ●カルボプラチン 重大 1.汎血球減少等の骨髄抑制 2.ショック、アナフィラキシー 3.間質性肺炎 4.急性腎障害、ファンコニー症候群 5.肝不全、肝機能障害、黄疸 6.消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍 7.出血性腸炎、偽膜性大腸炎 8.麻痺性イレウス 9.脳梗塞、肺梗塞 10.血栓・塞栓症 11.心筋梗塞、うっ血性心不全 12.溶血性尿毒症症候群 13.急性呼吸窮迫症候群 14.播種性血管内凝固症候群(DIC) 15.急性肺炎 16.難聴 17.白質脳症 18.腫瘍崩壊症候群 その他 (10%以上または頻度不明)悪心・嘔吐、食欲不振、蕁麻疹、ALT上昇、脱毛、全身倦怠感、無力症、尿酸上昇、悪寒、脱水、体重減少、アルブミン低下、呼吸困難 (1~10%未満)下痢、口内炎、腹痛、便秘、血尿、蛋白尿、発疹、末梢神経障害、頭痛、AST上昇、AI-P上昇、ビリルビン上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、血清ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム等の異常、発熱、浮腫
備考	

# ゲムシタピン+カルボプラチン併用療法 観察記録①

所要時間:2時間30分

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	<b>指示医師:</b> <b>ゲムシタピン</b> (            mg ) 一般名(ゲムシタピン) <b>カルボプラチン</b> (            mg ) 一般名(カルボプラチン)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		2時間30分かけて点滴【100mL/h】	
	生食100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A		30分かけて点滴【200mL/h】	
	生食100mL+ゲムシタピン		30分かけて点滴【 200 mL/h】	
	5%ブドウ糖250mL +カルボプラチン		60分かけて点滴【            mL/h】	
本体終了後抜去				

ゲムシタビン+カルボプラチン併用療法 観察記録⑧⑮

所要時間:1時間30分

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: ゲムシタビン ( mg ) 一般名(ゲムシタビン)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		1時間30分かけて点滴【167mL/h】	
	生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A		30分かけて点滴【200mL/h】	
	生食100mL+ゲムシタビン		30分かけて点滴【 200 mL/h】	
本体終了後抜去				